

# 誰もが自分らしくいきいきと輝ける社会へ

## 一般財団法人 大阪男女いきいき財団

Osaka Gender-Equal Community Foundation (OGCF)



大阪男女いきいき財団は、1993年の設立以来、ジェンダー平等、男女共同参画の推進に取り組んでいます。

### ▶ 研修・啓発事業

女性のキャリア形成や両立支援、DE&I、防災等  
受講者数：年間1万人

### ▶ 相談事業

職場や家庭の人間関係、子育てやキャリア等  
電話相談、面談相談、メール相談、LINE相談  
相談件数：年間2万件

### ▶ 調査研究事業

男女共同参画に関する市民意識調査、防災意識・行動に関する調査、職場のハラスメントの調査など

### ▶ 大阪市立男女共同参画センターの運営



# 今のわたし×防災 地域防災女性ファシリテーター養成講座

## 現状

**女性防災リーダーは20%**  
区地域振興会・災害救助青年部が中心

**町会加入率46%**  
人間関係や意識の変化、ライフスタイルの変化

**防災意識の低さ**  
3人に1人はハザードマップを見たことがない

## 望ましい変化

- 地域社会において、
- ・ 防災・減災活動に女性リーダーの参画が拡大
  - ・ ジェンダー平等・多様性の視点を取り込んだ活動が進み定着
  - ・ 地域の防災力が向上し、災害時の危機と被害の回避
  - ・ ジェンダー課題の解決

## 内容

地域のステークホルダーと連携して、防災に関してオープンでフラットな場を形成していく女性人材養成事業

- ◇ ジェンダー平等、多様性の視点
- ◇ 防災知識の習得
- ◇ 被災地の女性リーダーとの交流・視察
- ◇ リーダーシップ、ファシリテーション
- ◇ アクションプランをつくり、地域の方を巻き込んで協働しながら地域社会を変えていく



防災まちあるき



受講の様子

# 今のわたし×防災 地域防災女性ファシリテーター養成講座

## 特徴と成果

### チューターの起用

プログラム運営のフォローや受講者のアクションプランの相談相手として、地縁、テーマ型で活動する女性2人を起用

### テーマ型コミュニティへの展開

テーマ型や職域（企業）など、多様なコミュニティへの活動の展開を念頭におく  
= 受講者の多様さ

### アウトプットの場

能登半島での活動、男女共同参画センターでの事業等での講師や企画、修了者同士のアクションプランへの相互支援

### 市・大学との事業連携協定

大阪市、大阪公立大学都市科学・防災研究センターと本事業の運営や修了者の活動支援継続に関する連携協定を締結

## 受講者

計55名（2023、2024）

地縁型	15名	テーマ型NPO等	18名
企業・財団	14名	行政・公共	8名

## 受講者の変化（アンケートから）

- ① ジェンダー、多様性への理解
- ② 防災知識の向上
- ③ 活動意欲の向上
- ④ リーダーシップ、エンパワメントの意識化
- ⑤ 行動力の向上
- ⑥ 仲間のつながり

## ネットワーク

- ・ LINEグループで情報交換
- ・ 今後、それぞれの活動の可視化のためにプラットフォーム検討



修了者グループでの暑気払い（ビール）

## 能登半島・被災地支援

被災者に日常を取り戻す「応援」を敬意をもって

### ■女性ポーチの寄贈

女性用衛生用品100セットを準備（1月14日、16日）、こども女性ネット東海に託す

修了者からも寄贈多数、修了者と一緒にパッキング

「つながってんねん」遠くからだけど応援したい、想いを寄せたい

### ■合同での支援活動 修了者とともに

地域防災女性リーダー養成講座修了者を中心に3団体合同の被災地支援活動。こども女性ネット東海、うわじまグランマ

【日程】 4月26～28日：7人 / 7月12～14日：13人

9月27～29日：6人※豪雨災害のため規模縮小

【内容】 炊き出し、ワークショップをしながら傾聴、お茶っこ、清掃等

被災地支援のきっかけ／自分の専門性を被災地支援に役立てる経験／  
相手のニーズを感じ、自分ができることを臨機応変に柔軟に行動することの重要性を実感／  
➡振り返りを行い、日常の活動に落とし込む ➡ 活動への自信

### ■募金活動

修了者の多様な活動のなかで募金を実施

【例】オンラインコミュニティサロン、地域の夏祭り、カフェ、  
防災講座の謝礼金、会社として

### ■大学の災害調査に参加

本プロジェクトのコーディネーターが大阪公立大学の客員研究員。

大阪市の対口支援先の輪島市を中心に5回参加



修了者とパッキング中



手書きメッセージも入れました



輪島の和菓子屋さん  
「中浦屋」さんから注文



左奥：虫よけスプレーづくり  
右：火を使わないお灸、折り紙  
手前：ハンドマッサージ

# 今後の取組 受援力と支援力

## ■女性の防災人材のつながり

- ・地域防災女性ファシリテーターを核に点を面に
- ・それぞれのコミュニティでジェンダー視点で防災に取り組む人を増やす

## ■大阪市立男女共同参画センターの運営者として

- ・男女共同参画の活動支援とネットワークの拠点（場）
- ・啓発活動（センターの発信力）
- ・ジェンダーフォトメッセージコンテスト  
子育て部門／防災部門
- ・行政の公助の限界 ⇔ 企業やNPOとの関係構築
- ・民間同士の関係構築  
⇒行政に頼らない、受援力、発信力

## ■平時の関係構築

男女共同参画センター、女性支援のNPO等の  
シスターフッドの平時からの関係構築

例) 政令指定都市センター会議  
(2005年度から主宰)  
実行団体のネットワーク



女性防災リーダーのアクションが加速し活躍の場を広げることで

◆ 平時のジェンダー課題の解決にも寄与したい

◆ 災害時に女性の困難が繰り返されることを阻止したい

皆様の応援やアイデア・協働をお願いします